

VMware vRealize Automation

ハイブリッド クラウド自動化プラットフォーム

概要

VMware vRealize® Automation™ は、ガバナンスとセキュリティを維持しながら、IT プロセスを自動化し、インフラストラクチャやアプリケーションのプロビジョニングと提供を迅速化して、IT サービス デリバリティを変革します。

主なメリット

- シンプルで容易なセットアップ、構成、管理：セキュアなハイブリッド クラウド環境を容易かつ迅速にセットアップし、ライフサイクル全体を通じて管理
- セキュリティとコンプライアンスの確保：セルフサービス機能とマルチクラウド環境全体のガバナンスを備えた、一貫性のあるオーケストレーション
- DevOps 対応：Infrastructure as Code (IaC) を利用でき、多数の DevOps ツールや開発者ツールと連携する、高度に自動化された DevOps プラットフォーム
- 市場投入までの期間の短縮：柔軟性とパイプラインの可視化により、ソフトウェアの提供を迅速化
- 高可用性と信頼性：実行中のアプリケーションのライフサイクル全体にわたって一貫した自動化を提供。環境の変化にも対応
- あらゆるアプリケーションをあらゆるクラウドで：ハイブリッド クラウド環境またはマルチクラウド環境で仮想マシンまたはコンテナベースのアプリケーションを実行

vRealize Automation の概要

VMware vRealize Automation は、複雑さを軽減し、手動の工程を含むタスクを排除することで、生産性と俊敏性を向上させるハイブリッド クラウド自動化プラットフォームです。ガバナンスとセキュリティを維持しながら、IT プロセスを自動化し、インフラストラクチャやアプリケーションのプロビジョニングと提供を迅速化して、IT サービス デリバリティを変革します。vRealize Automation を使用すると、IT 部門はセキュリティと制御性を維持でき、社内の IT 運用担当、DevOps エンジニア、開発者、ビジネス部門は、パブリック クラウドのようなユーザー使用環境を使用して、必要な環境やリソースをすばやく取得できます。

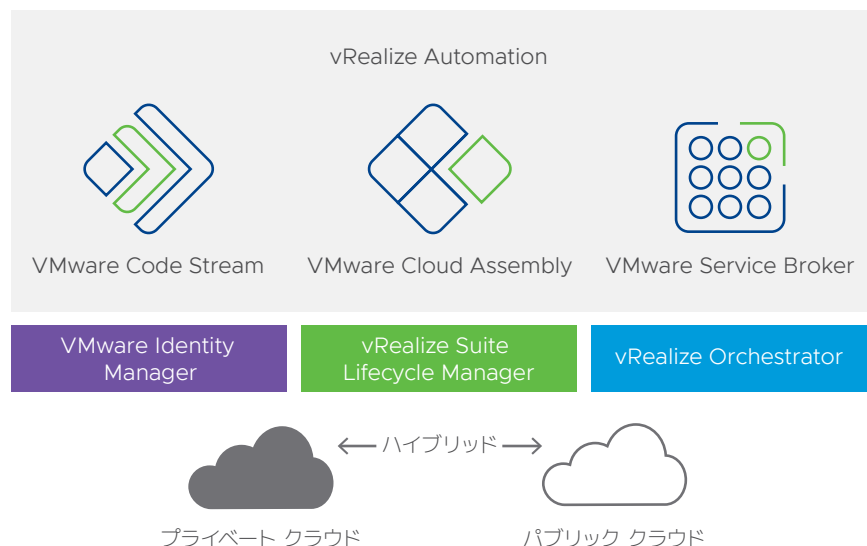


図 1: vRealize Automation 8

vRealize Automation のコンポーネント

VMware Cloud Assembly™：ハイブリッド クラウド環境およびマルチクラウド環境で、インフラストラクチャとアプリケーションの提供をオーケストレーションします。

VMware Service Broker™：VMware Cloud Assembly、vRealize Orchestrator™、ネイティブパブリック クラウドなど、さまざまなリソースおよびプラットフォームのコンテンツを共通のサービス カタログに集約し、セルフサービス モデルを提供します。また、柔軟性に優れたポリシーベースのガードレールにより、ガバナンスを維持します。

VMware Code Stream™：アクティブなパイプラインの可視化、分析、トラブルシューティングのためのステータス情報を含むリリース パイプラインの管理により、アプリケーションの提供プロセスを自動化します。組み込みの連携機能により、DevOps チームは既存のツールやプロセスをそのまま活用できます。

主なユースケース

- ハイブリッド クラウドの管理：オンプレミスおよび VMware Cloud™ on AWS の VMware vSphere® ベースのクラウド環境を管理します。
- マルチクラウドの拡張：クラウド環境を Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platform などのネイティブパブリッククラウドに拡張します。
- DevOps を使用したアプリケーション提供：リリースパイプラインを使用して、マルチクラウド環境全体のアプリケーション開発ライフサイクルをエンドツーエンドで自動化します。
- Kubernetes クラスターの管理：Kubernetes ワークロードを管理し、仮想マシンおよびコンテナベースのアプリケーションを展開します。

vRealize Automation の詳細情報

製品 Web サイト：

vmware.com/jp/products/vrealize-automation

ハンズオン ラボを試す

VMware 製品のご購入または詳細情報のお問い合わせ

VMware 製品のご購入または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

vmware.com/jp/products/vrealize-automation

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、vRealize Automation のオンラインドキュメントを参照してください。

主な機能

ハイブリッド クラウドを容易かつ迅速にセットアップおよび管理

vRealize Easy Installer：vRealize Suite Lifecycle Manager™、VMware Identity Manager、vRealize Automation をセットアップできます。

スタック全体の緊密な連携：VMware の Software-Defined Data Center (SDDC) スタックおよび vRealize Operations™ とネイティブに連携します。

ライフサイクル管理の自動化：インストールと構成、アップグレードとパッチ適用など、ベストプラクティスおよび VMware Validated Designs に基づいて、vRealize Suite Lifecycle Manager によるエンドツーエンドのライフサイクル管理を提供します。

セキュアでコンプライアンスが確保されたハイブリッドおよびマルチクラウドプラットフォーム

セルフサービス プロビジョニング：エンドユーザーは共通のサービス カタログを通じて IT サービスをリクエストできます。サービス カタログには、複数のクラウドとプラットフォームから、あらゆるサービス、ブループリント、テンプレート、イメージが集約されており、ネイティブパブリッククラウド サービスも含まれています。

きめ細かいガバナンス：管理者は、プロジェクトや組織にさまざまなポリシーを適用することで、すべての社内ユーザーに必要なレベルのアクセス権を付与できます。

VMware Identity Manager との連携：VMware Identity Manager と Active Directory の連携により、ID 管理を可能にします。

マルチクラウド環境全体で一貫性のあるオーケストレーション

ブループリント：ブループリント デザイナーでは、ドラッグアンドドロップ形式のインターフェイスを備えた視覚的なキャンバス上で、各コンポーネントを使用してインフラストラクチャやアプリケーションの展開方法を組み立て、IT サービスのモデリングを行うことができます。ブループリントはコード (YAML) として定義することもできます。

クラウド エンドポイントの抽象化：クラウドに依存しないブループリントは、事前定義済みのポリシーに基づいて任意のエンドポイントに展開できます。

マルチクラウドのサポート：ブループリントをパブリッククラウドのエンドポイントに展開できます。また、ブループリントにパブリッククラウドのネイティブサービスのコンストラクトを埋め込むことができます。

DevOps 対応のプラットフォームによる迅速なアプリケーション提供

リリースパイプラインの管理：VMware Code Stream を使用して開発ツールと連携し、リリースパイプラインの管理を自動化します。

可視化と分析：すべてのアクティブなパイプラインと、それらの現在の状態を可視化して、エンドツーエンドで確認できるビューを提供します。

拡張可能なプラットフォーム：VMware Solution Exchange を通じて、各種の構成管理ツールやサードパーティ製ツールと連携できます。